

目次

[今週号は 2022 年 7 月 15 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：正常性バイアスと景気後退	1
日本株銘柄情報：鈴茂器工(6405)	2
日本株銘柄情報：HPC システムズ(6597)	3

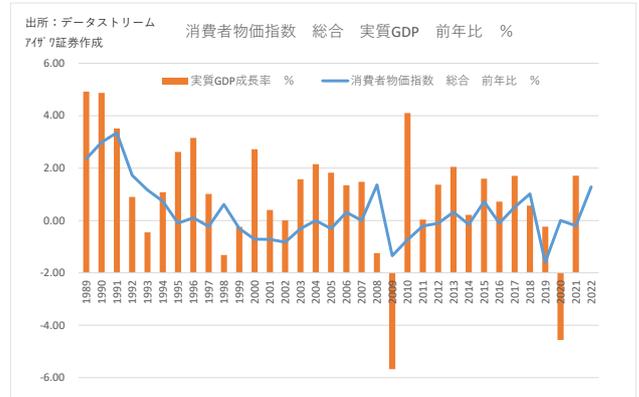
正常性バイアスと景気後退

笹木 義次

人間の心理には、予期しない異常や危険に対してある程度鈍感に反応する正常性バイアスがあります。これは、日常生活での些細な変動に、過剰反応しないようにある程度の異常はあえて無視しようとするからです。株式市場と経済指標が示す景気の先行きの関係にも正常性バイアスが働いていると筆者は考えています。

経済指標を見ると先行き景気が後退する事を示唆するものとなっています。景気の先行指標である長短金利差は縮小し、マイナスになっています。また、消費者物価指数の上昇率が高まり、先行きの実質 GDP 成長率の低下が見込まれています。

こうした先行きの景気後退を示唆する経済指標にも関わらず、株式市場は弱気市場程度の反応で留まっています。これは、正常性バイアスが働いているからと筆者は考えています。人々が正常性バイアスから覚醒するきっかけとなる出来事は特定できない事から、引き続き小さな変化等に注視する必要があります。



鈴茂器工 (6405)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/7/15) 2,274.0 円
 売買単位 100株
 市場 東証スタンダード
 時価総額 147 億円

事業概要

鈴茂器工は、シャリ玉ロボットや海苔巻きロボットなどの寿司ロボット、盛付ロボットの製造と販売を行っています。一定以上のおいしさなどの品質を維持しつつ、自動化や省人化のニーズに対応しています。寿司ロボットなどの米飯加工機では、店舗で使われる小型機に強みを持っています。

2021年10月には、セルフオーダーシステムや配膳ロボットの開発と販売を行っている日本システムプロジェクトを連結子会社化しました。厨房の自動化や省力化に加えて、客席フロアを含めて省人化や効率化を可能とする製品やサービスの構築を目指しています。

特徴

鈴茂器工は1981年に小型の寿司ロボットの製造と販売を開始しました。それまで世の中になかった製品を市場に投入する事で、需要を創造する事で成長して来ましたが、盛付ロボットは、自動的に米飯をよそうものです。これまでは牛丼チェーンで使われてきましたが、それ以外のファミリーレストラン、ホテル、弁当屋さん、病院・介護施設など需要が拡大しています。

業績実績

鈴茂器工の2022年3月期の業績は、売上高が115億65百万円と前年比で21.9%の増収に、営業利益は15億17百万円と前年比で65.1%

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/3	9,486	919	920	683	105.8	20.0
2022/3	11,565	1,517	1,543	1,070	165.9	40.0
2023/3計	13,000	1,800	1,800	1,315	203.6	62.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

連結	
今期予想PER	11.1 倍
PBR	1.10 倍
予想配当利回り	2.72 %

の増益となりました。売上高の増収効果と総利益率の改善で、営業利益は増益となりました。

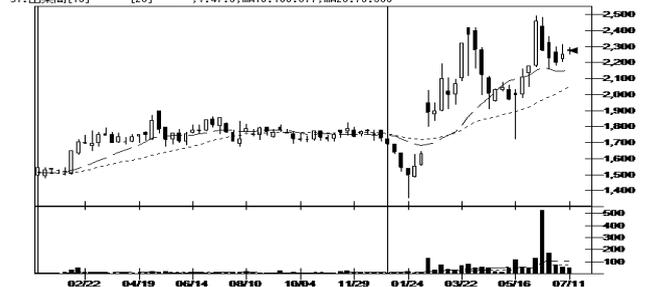
海外売上高が増収となり、全体の売上高の増収に寄与しました。海外売上高は38億36百万円となり前年比で72.7%の増収となりました。地域では、北米と欧州の売上高が増収となりました。自動化や省力化のニーズの高まりで、海苔巻きロボットが伸長しました。

国内売上高では、2021年10月に連結子会社化した日本システムプロジェクトの売上高が寄与しました。製品では、テイクアウト用に、シャリ玉ロボットとシャリ玉盛付装置が伸長しました。また、盛付ロボットも寄与しました。

業績計画

鈴茂器工では、2023年3月期の業績は、売上高が130億円と前年比で12.4%の増収に、営業利益は18億円と前年比で18.6%の増益を計画しています。自動化や省人化の需要の増加が継続する事で、増収増益を見込んでいます。部材の供給不足を前提とした業績計画になっています。

6405 鈴茂器工 東証 21/1/4~22/7/11
 日付:22/07/15 高:2286 低:2289 安:2279 現値:2274.10 出来高:8
 MA:200/250 移動平均[15] [25] [50] [100] [200] MA18:2187.15 MA28:2051.35
 ST:出来高[15] [25] [50] [100] [200] V:47.3 MA18:103.877 MA28:75.389



出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

HPCシステムズ(6597)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/7/15)	2,715.0 円
売買単位	100株
市場	東証グロース
時価総額	117 億円

事業概要

HPCシステムズは、HPC事業とCTO事業の2つの事業からなっています。HPC事業では、主に大学、官公庁、企業の研究開発部門が行う科学技術計算に対応した高性能計算機の開発、製造、販売などを行っています。CTO事業では、主に産業用電子機器向けの組込型計算機の開発、製造、販売を行っています。

2022年6月期第3四半期累計業績

HPCシステムズの2022年6月期第3四半期累計の業績は、売上高が49億89百万円と前年同期比で1.2%の減収に、営業利益は6億38百万円と前年同期比で9.6%の減益となりました。売上総利益は改善しましたが、売上高の減収と販管費の増加で、営業利益は減益となりました。

HPC事業の業績は、売上高が35億77百万円と前年同期比で2.2%の減収に、セグメント利益は4億87百万円と前年同期比で12.7%の減益となりました。大学官公庁向けの売上高が前年同期比で49%の減収となったことから、売上高は前年同期比で減収となりました。2021年6月期にあった大学官公庁向け特需の反動減の影響です。一方で、民間企業向け売上高は前年同期比で59%の大幅な増収となりました。

CTO事業の業績は、売上高が14億11百万円と前年同期比で1.4%の微増収に、セグメント

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/6	4,725	477	465	307	75.4	0.0
2021/6	5,828	676	665	447	107.9	0.0
2022/6計	6,425	745	741	496	119.5	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

非連結	
今期予想PER	23.1 倍
PBR	5.18 倍
予想配当利回り	0.00 %

利益は1億50百万円と前年同期比で2.4%の増益となりました。2021年6月期にあった大口のスポット案件が剥落しました。しかし、半導体関連装置、医療装置、アミューズメント向けが継続顧客向けの売上高の増収で吸収して、微増収となりました。

為替の円安はデメリットです。HPC事業では、海外工場に生産を委託しています。また、両事業とも海外から部品の調達を行っているからです。HPC事業を中心に、価格転嫁を進めています。

業績計画

HPCシステムズでは、2022年6月期の業績計画は、売上高が64億25百万円と前年比で10.2%の増収を、営業利益は7億45百万円と前年比で10.2%の増益を計画しています。筆者は、HPCシステムズの2023年6月期の業績は、売上高が74億25百万円と会社計画比で15.6%の増収を、営業利益は8億20百万円と会社計画比で10.1%の増益となる事を予測しています。2023年6月期は大学官公庁向けが回復する事や、民間企業向けに堅調な受注が見込めると見ているからです。また、採用の積極化も継続すると見えています。



© QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa